

ご 注 意

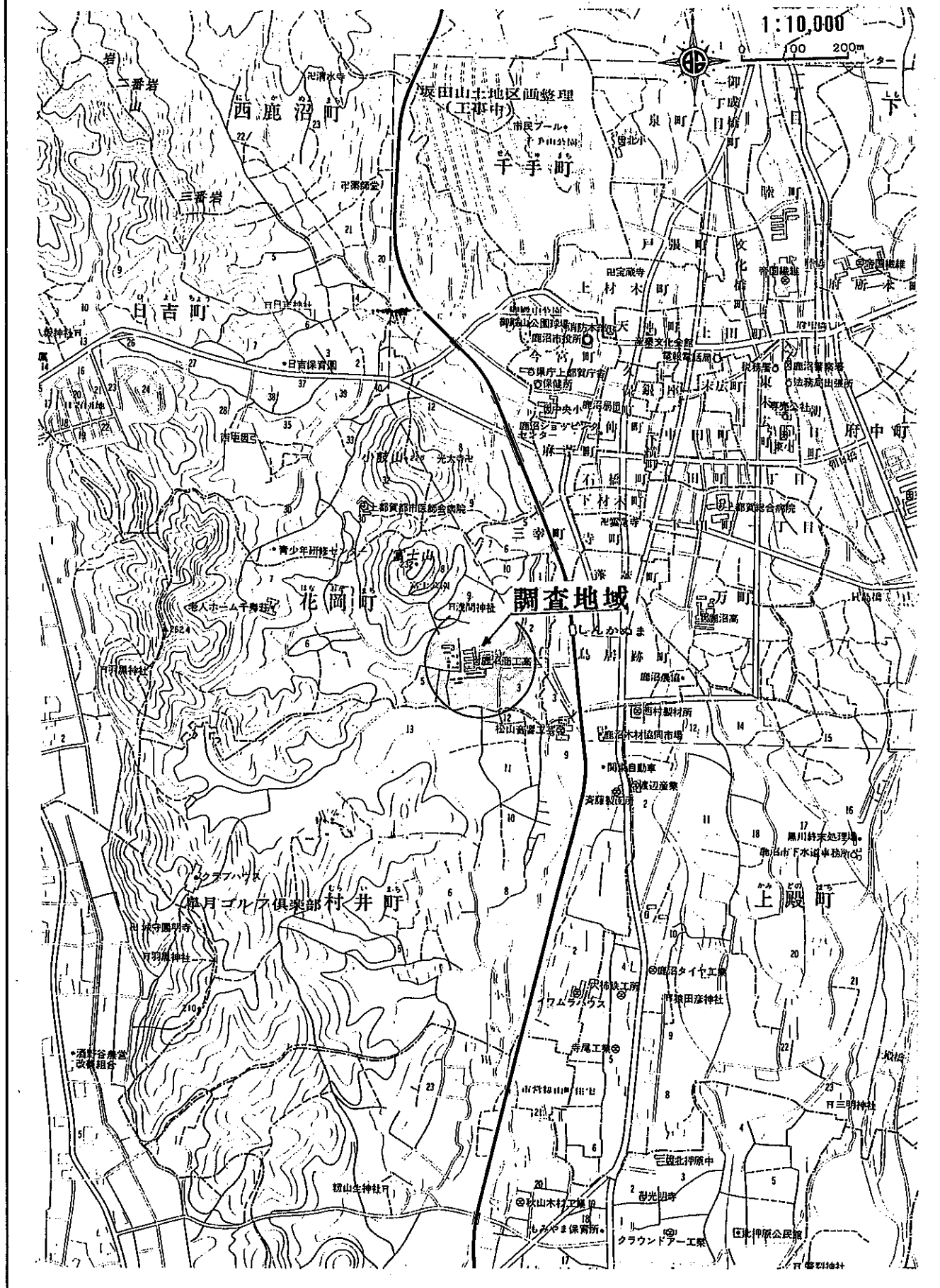
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案内図



土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 栃 木 県 立 鹿 沼 商 工 高 校 情 報 科 学 科 実 習 模 様 新 築 工 事 地 質 調 査 委 託

調 査 年 月 日 6 1 年 1 1 月 日

調 査 地 点 鹿 沼 市 花 岡 町 180 番 地

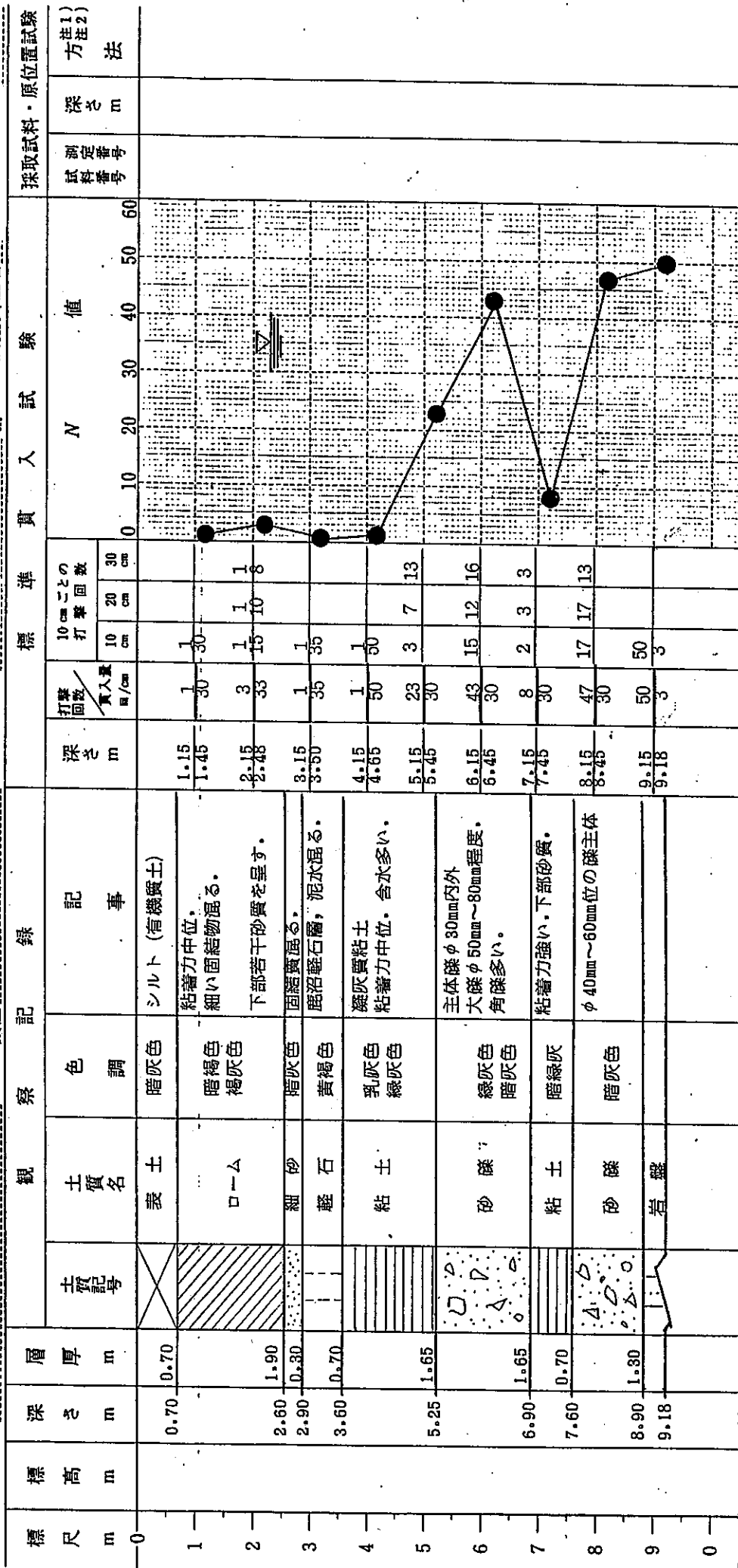
標 高 KBM-0.58m m

年 月 日

ボーリング孔: No. 1

機種

孔内水位(自然, 泥) CL-2.30m m 調査責任者



備 考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンワールサンブラー F: フォイルサンブラー
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 栃木県立鹿沼 商工高等学校地質調査委託 (情報科学科実習棟新築工事)

調 査 年 月 日 61 年 11 月 日

調 査 地 点 鹿沼市花園町180番地

標 高 KBM-0.40m

年 月 日

ボーリング孔: No. 2

孔内水位(自然, 泥位) 2.60m

調 査 責 任 者

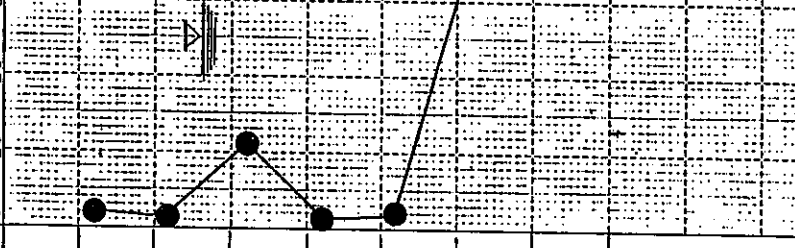
標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	土 質 記 録		標 準 貫 入 試 験			採 取 試 料 ・ 原 位 置 試 験							
				土 質 名	色 調	記 事	深 さ m	打撃回数 10cm 20cm 30cm	貫入量 mm/cm	試料番号	深 さ m	方 法				
0																
1		0.60	0.60	表 土	黒褐色	盛土・腐混り土砂主体	1.15	2	1	1						
1		1.10	0.50	有機質土層	黒灰色	腐植物混る。含水少ない。	1.46	31	18	13						
2				ローム	茶褐色	所々細かい腐植物混る。 含水中位。	2.15 2.46	1 31	1 31							
3		2.80	1.70				3.15 3.45	11 30	3 3	5						
4		3.60	0.80	粘土質砂	灰褐色	粘土質中砂。 局部的に半回結状。	4.15	1	1							
4				軽石	褐色 乳灰色	鹿沼軽石層 下部緑灰色を呈す。	4.54	39	39							
5		4.80	1.20				5.15 5.49	2 34	1 18	16						
5			0.80	粘土	緑灰色	凝灰質粘土, 粘着力強い。	6.15	38	4	7	27					
6							6.45	30								
7				砂	暗灰緑	亜角礫, 角礫多い。 首体礫φ10mm~60mm位 大礫φ150mm介在あり。 6.40m附近まで粘土を含む。	7.15 7.33	50 18	29 10	21 8						
8							8.15	50	21	19	10					
8							8.40	25	10	10	3					

備考

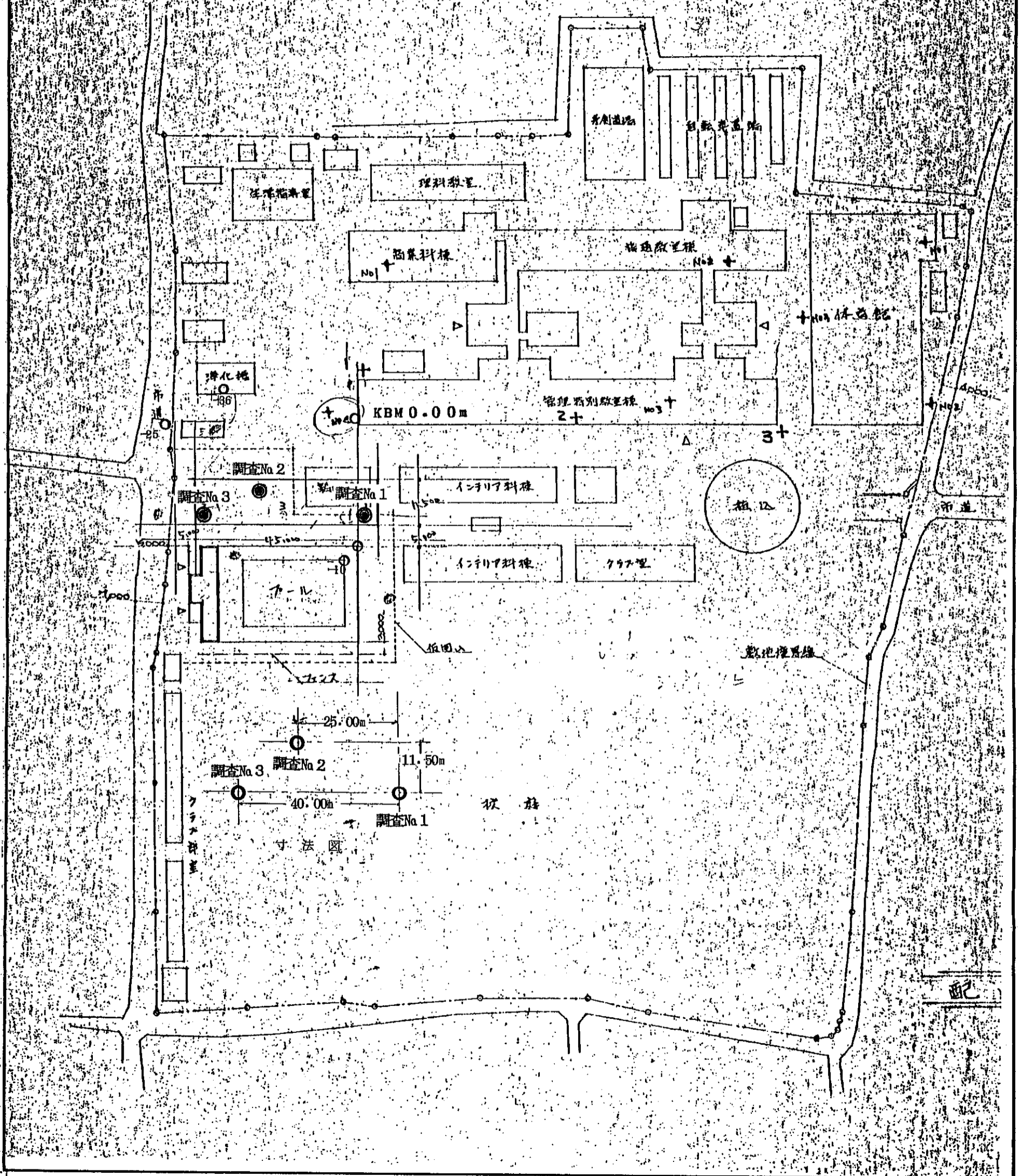
注1) 試料採取方法の記号

- T: シンワールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号



地質調査位置図
S=1:1000



土質柱状図

報告用紙

調査名 栃木県立鹿沼商工高校情報科学科実習棟新築工事地質調査委託

調査年月日 61年11月 日

調査地点 鹿沼市花岡町180番地

標高 KBM-0.54m m

年 月 日

ボーリング孔: No. 3

機種

孔内水位(自然, 泥) GL-2.40m m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験					採取試料・原位置試験						
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入層 回/cm	10cmごとの 打撃回数			N 値	試料 番号	測定 番号	深さ m	方法 注1) 注2)	
										10 cm	20 cm	30 cm						
0		0.35	0.35		表土	暗灰色	盛土, 篠木材混る. 粘着力中位.											
1					ローム	褐灰色		1.15	1	1								
2								1.45	30	30								
3		2.70	2.35		細砂	暗灰色	含水多い. 細い固結粒混る.	2.15	2	1	1							
4		3.10	0.40		軽石	灰褐色 褐灰色 暗緑灰	含水あり.	2.45	30	15	15							
5		4.60	1.50		粘土	暗灰色	含水多い. 粘着力中位. 下部砂混入多くなる.	3.15	2	1	1							
6		5.45	0.85		砂礫	暗灰色	主体礫φ20mm内外 大礫φ50mm~100mm程度 礫混入多い.	3.50	35	25	15							
7		7.40	1.95		粘土	暗灰色	暗緑灰色混る. 粘着力中程度. 9m附近腐植物混る. 9.70m附近より細い固結物 混る所あり.	4.15	1	1								
8								4.47	32	32								
9								5.15	3	1	2							
0								5.45	30	20	10							
1								6.15	50	47	3							
2		12.00	4.60		腐植土	暗茶灰	有機物混る.	6.25	11	10	1							
3		12.50	0.50		細砂	暗灰色	固結物混る. 軽石混る.	7.15	22	13	8	1						
4		13.80	1.30		粘土	暗灰色	粘着力強い. 所々腐植物混る, 全体に細かい固結物混る.	7.45	30	10	10	10						
5								8.15	2	1	1							
6								8.50	35	25	10							
7								9.15	2	1	1							
8								9.45	30	20	10							
9								10.15	9	4	2	3						
0								10.45	30									
1								11.15	5	1	2	2						
2		12.00	4.60		凝灰質 粘土	暗灰色	17.70m附近より凝灰質を呈 す. 小礫介入あり. 含水多い. 粘着力強い.	11.47	32	10	10	12						
3		12.50	0.50		岩盤	緑灰色	凝灰岩	12.15	7	3	2	2						
4		13.80	1.30					12.45	30									
5								13.15	19	5	5	9						
6								13.45	30									
7								14.15	4	1	2	1						
8								14.45	30									
9								15.15	5	1	2	2						
0		19.70	5.90					15.45	30									
1		20.21						16.15	4	1	2	1						
2								16.45	30									
3								17.15	22	9	7	6						
4								17.45	30									
5								18.15	3	1	1	1						
6								18.45	30									
7								19.15	6	2	2	2						
8								19.45	30									
9								20.15	50	50								
0								20.21	6	6								

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー